

2025～2026年度  
国際ロータリー会長メッセージ



国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ

2025～2026年度  
地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー  
小崎 学

オトウサンオカエリ  
白御影石



作: 杉村 仁 会長

- |     |       |       |       |       |       |        |       |      |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|
| 会 長 | 杉村 仁  | 副 会 長 | 佃 尚彦  | 副 会 長 | 安井 清悟 | 会長エレクト | 井上 直治 | 直前会長 | 佐川 寛一 |
| 幹 事 | 加藤 又広 | 会 計   | 木村 和弘 | 会場監督  | 丸山 佳映 | 理 事    | 井上 直治 | 理 事  | 岡崎 義幸 |
| 理 事 | 東山 光秀 | 理 事   | 安井 清悟 | 理 事   | 松中 隆  | 会報委員長  | 岡崎 義幸 |      |       |

第22回(2569回)例会プログラム令和8年1月29日(木)

第2回クラブデー

「井久保会員 新入会歓迎会」

飛天(東向商店街)にて

第21回(2568回)例会報告 2026. 1. 22  
ソング

「ロータリーって何だろう」

来訪者紹介

朝廣 佳子 様 奈良RCパスト会長・地区RYLA委員長  
安井 和美 様 安井P会長ご夫人

出席報告

|            | 会員数 | 出席計算<br>免除会員数 | 出席会員数 | 欠席者数 | 出席率   |
|------------|-----|---------------|-------|------|-------|
| 通 算 2568 回 | 21  | 1/1           | 15/20 | 5    | 76.2% |
| 通算2566回修正  | 21  | 1/1           | 10/20 | 10   | 52.4% |

会長の時間 (杉村会長)

皆さん、こんばんは。朝廣佳子様、安井和美様、ようこそ奈良西ロータリークラブへ。  
当分、大変な寒波ということで気をもみましたが、当地奈良は積雪も無く、しかし気温は随分低いようです。  
午前中に石彫りの授業が外でありましたのですが、倒れる生徒さんも無く、私も含めて無事に過ごせました。  
いよいよ選挙が始まります。どの様な結果になるのか、全く予想が付きませんが、私は何だか大きな転換点になるような気はしております。日露戦の日本海海戦の東郷連合艦隊司令長官のように「とーりーかじいっぱい」といったような大勝利になればいいのですが。



## ニコニコ報告

### 奈良RC 朝廣佳子P会長

本日はお招きありがとうございます。  
拙い話で恐縮ですがよろしくお願いいたします。

### 杉村仁会長

大変寒いですがようこそクラブへ。アッセンブリーもご苦労様です。

### 安井清悟P会長、佐川寛一P会長

朝廣P会長、今日はありがたい卓話よろしくお願いいたします。  
安井の家内もメーキャップで参りました。

### 下村由加里会員、東山光秀会員、木村和弘会員、加藤又拡会員、岡崎義幸会員、井久保裕也会員

朝廣地区委員長様、本日の卓話楽しみにしております。  
どうぞよろしくお願いいたします!!



## 第2回クラブアッセンブリー



## 「私と職業奉仕 ～地域活性化への貢献を使命に～」

奈良RC/パスト会長・地区RYLA委員長 朝廣 佳子 様



ロータリーの職業奉仕は、ロータリーの理念に従って自分を律し、自分の職業を通じて地域に貢献するというものです。私の場合、職業とともにライフワークであるまちづくりを通して地域に貢献しております。「世のため、人のために奉仕する心を持って職業を営むべし」という職業奉仕の理念には一致していると思っています。

私の職業は出版や編集の会社を経営しております。「奈良を元気にする」を経営理念に、月刊地域情報誌の発行ほか自社サイトの運営、ホームページの制作、出版物全般の編集、制作を手掛けております。この職業を通じてこの38年で約800人取材してまいりました。特にお坊さんは約300人近くになります。そんなお坊さんたちとラジオのレギュラー番組をもったり、トークイベントなどをしております。

こうした仕事的一方で、ライフワークとしてまちづくりを続けております。「なら燈花会」や「平城京天平祭」の立ち上げ、奈良公園の鹿と人の共生を目指す「鹿サポーターズクラブ」、NPO法人奈良元気もんプロジェクトなどは今も続けております。私の中ではすべて「奈良を元気にする」という信条のもとに行っており、これらはつながっています。

1999年に始めた「なら燈花会」は、8月5日～14日までの10日間、奈良公園一帯に約2万個の灯りをともし祭りです。当日10日間だけお手伝いいただくサポーターが約3000人、来場者は初年度17万人、6年目で70万人になりました。夏枯れで観光客がほぼいない奈良に新しい祭りをというコンセプトで、それまで行っていた「ならまつり」というイベントを見直し、喧々諤々話し合った結果、ろうそくを並べるお祭りをやってみようということになりました。最初は皆「辛気くさい」「地味過ぎる」と反対し、そこまで言うならお前がやれということで、私が実行委員長を引き受けました。観光に結び付けるために初年度、10日間4会場、ろうそく6千個でスタートしました。思いがけず17万人もの人がきてくれて、「なら燈花会の会」という任意団体を作り、市民ボランティアを募集したところ、奈良のために何かしたいという市民の人たちが思いのほか集まりました。

最初は春日大社さんから万燈籠と混同するとお叱りを受けたり、駅前の商店街も早く閉めたりと、いろいろ問題もありましたが、しぶとく続けながらお願いし、やっと5年後にお許しをいただき、6年後に東大寺、興福寺、春日大社が会場になりました。周辺商店街もならまち界隈が燈花会を始められたのをきっかけに、6年目から夜の営業をしていただけるようになりました。燈花会の成功は市民のチカラなくしてあり得ません。

次に手掛けたのが平城遷都祭でした。文化庁との攻防などがありましたが、何とか市民主導で平城宮跡を使用しての祭りがスタートしました。平城遷都1300年祭では1300人規模のプログラムをいくつも展開し、全国から1万人もの参画者に祭りを作っていただきました。リーダーとなったのが「2010年塾」でイベントを学んだ、学生やOL、主婦、リタイアした人たちなど一般市民でした。2011年からは平城京天平祭と名前を変え、歴史的史実にできるだけ忠実にした行列や500人規模の「平城遷都之詔」など行事の再現にこだわりました。毎秋には東大寺参詣行列を実施、東京オリンピック聖火リレー到着式や大阪関西万博など主要事業でも天平行列を行っております。日本で第一級の都の跡を持つ奈良だからこそ、後世に残していかなければならないものだと思っております。

## 卓話(続き)

イベントというのは企画力、運営力、コミュニケーション力、現場対応力、協調力、おもてなし力、危機対応力他、あらゆるスキルを身に着けることができます。何より地域を愛する人を作り、増やすことができる大切な事業だと考えています。

そしてまちづくりと職業奉仕は密接に関わっていると言えます。職業のスキルをまちづくりに生かし実行する。そこで身に付いた様々なスキルをまた職業に生かすことができるということです。様々な人がそれぞれにいろんな力をスパイラル状に成長させ、成長したその人がまた別のところで何かを始めて成長する。そんなスパイラルがたくさん生まれていくのだと思います。中には70歳で起業した主婦や、ボランティアで参加していた学生が同じボランティアの人の会社に就職した例はいくつかあります。

「誰かの・何かの役に立ちたい」と思うは大勢います。市民の皆さんは全然自分の職業と関係なくても何かしらそれを生かしてまちづくりに携わっている、それはりっぱな職業奉仕ではないかと、それが自分自身の存在意義や生きがいにつながっていくのだと思います。「気づきを動きへ」。動くことが何より大切です。ご静聴ありがとうございました。



第23回 (通算2570回)例会予告  
例会日 令和8年2月5日(木)

第9回理事会

卓話:「平和維持活動について」

青少年交換委員長 下村 由加里 会員